

I 有害大気汚染物質モニタリング調査結果

有害大気汚染物質は、人が継続的に摂取した場合に健康を損なうことが懸念される物質であることから、県及び大気汚染防止法に定める政令市（さいたま市、川越市、川口市、所沢市、越谷市）では、大気汚染防止法に基づき、平成9年10月からモニタリング調査を実施している。

1 調査地点

県は、全国標準監視地点6地点（表I-1）で、政令市は、全国標準監視地点7地点、地域特設監視地点11地点の計18地点（表I-2）で調査を実施した（図I-1）。

表I-1 県調査地点

地点区分	地域分類 (旧区分)	地点名	試料採取場所	所在地
全国標準監視地点	一般環境	熊谷測定局	熊谷市役所	熊谷市宮町2-47-1
		東松山測定局	五領町近隣公園	東松山市五領町8
		春日部市役所	春日部市役所	春日部市中央6-2
		環境科学国際C測定局	環境科学国際センター	加須市上種足914
	沿道	草加市花栗自排測定局	花栗中学校	草加市花栗4-15-12
		戸田美女木自排測定局	西部福祉センター	戸田市美女木5-2-16

表 I - 2 政令市調査地点

政令市名	地点区分	地域区分 (旧区分)	地点名
さいたま市	全国標準監視地点	一般環境	さいたま市役所測定局
		沿 道	三橋自排測定局
	地域特設監視地点	一般環境	大宮区役所
			健康科学研究センター
			宮原測定局
		岩槻測定局	
沿 道	曲本自排測定局		
	大和田自排測定局		
川越市	全国標準監視地点	一般環境	川越測定局
			高階測定局
	地域特設監視地点	沿 道	仙波測定局
川口市	全国標準監視地点	一般環境	南平測定局
	地域特設監視地点		芝測定局
			石神配水場
		沿 道	神根測定局
所沢市	全国標準監視地点	一般環境	北野測定局
	地域特設監視地点	沿 道	和ヶ原測定局
越谷市	全国標準監視地点	一般環境	東越谷測定局

3 調査方法

本調査は、「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」に従い、表 I-3 に示す方法で行った。

表 I-3 調査方法一覧

調査対象物質	調査方法
揮発性有機化合物 (VOC)	容器採取 (減圧採取装置) - GC/MS法
アルデヒド類	固相捕集 - HPLC法
酸化エチレン	固相捕集 - 溶媒抽出 - GC/MS法
ベンゾ[a]ピレン	ハイボリウムエアサンプラ捕集 - 超音波抽出 - HPLC法
水銀及びその化合物	金アマルガム捕集 - 加熱気化冷原子吸光法
その他の重金属類	ハイボリウムエアサンプラ捕集 - 誘導結合プラズマ質量分析法

(1) 試料採取方法

各物質とも以下に示す方法で毎月1回24時間連続採取した。また、精度管理のためにトラベルブランク3試料と二重測定1試料を月ごとに地点を変えて採取した。

① VOC

あらかじめ減圧にしたキャニスタに定流量制御装置を接続して、直接又は大気汚染常時監視測定局コンテナ等の室内にあるサンプリングマニホールドから大気試料を採取した。

② アルデヒド類

オゾンスクラバを前段に接続した2,4-DNPH捕集管に、直接又は大気汚染常時監視測定局コンテナ等の室内にあるサンプリングマニホールドから大気試料を吸引し捕集した。

③ 酸化エチレン

グラファイトカーボン系吸着剤を臭化水素酸に含浸させ乾燥させたものを充填した捕集管に直接大気試料を通気し、酸化エチレンを誘導体化して2-ブロモエタノールとして捕集した。

④ 水銀及びその化合物

珪藻土粒子等の表面に金を焼き付けした捕集剤を充填した捕集管を用いて大気を吸引し、水銀を金アマルガムとして捕集した。

⑤ ベンゾ[a]ピレン及びその他の重金属類

ハイボリウムエアサンプラにより石英繊維ろ紙上に浮遊粉じんを捕集した。

(2) 分析方法

各物質は以下に示す方法に従い分析を行った。分析に当たっては、操作ブランク試験、トラベルブランク試験、分析装置の感度試験、二重測定試験及び定量下限値測定を実施して測定の信頼性を評価し、適宜再測定又は測定値の補正を行った。

① VOC

試料を試料導入装置で低温濃縮した後、GC/MS法により分析した。

② アルデヒド類

誘導体として捕集管に採取した試料をアセトニトリルで抽出し、HPLC法により分析した。

③ 酸化エチレン

誘導体として捕集管に採取した試料をトルエン/アセトニトリルで抽出し、GC/MS法により分析した。

④ ベンゾ[a]ピレン

ろ紙試料の適量についてジクロロメタンを用いて超音波抽出を行い、HPLC法により分析した。

⑤ 水銀及びその化合物

捕集管を加熱し、気化した原子状水銀を原子吸光法により分析した。

⑥ その他の重金属類

ろ紙試料の1/4を圧力容器法による前処理を行い、誘導結合プラズマ質量分析法により分析した。

4 調査結果

各物質の地点別年平均濃度を表I-4～7に示す。

なお、検出下限値未満の測定値が得られた月については検出下限値の1/2の濃度として取り扱った。

表I-8に環境基準達成率の推移を、表I-9に国内外の環境基準値や指針値等を示す。

令和4年度の測定結果を環境基準及び指針値と比較すると、全ての地点で環境基準及び指針値を下回っていた。

表 I - 4 各物質の地点別年平均濃度（県調査地点）

物質名・単位	地点名	全国標準監視地点					
		一般環境				沿道	
		熊谷測定局	東松山測定局	春日都市役所	環境科学国際C 測定局	草加市花栗自排 測定局	戸田美女木自排 測定局
ベンゼン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.60 (0.97)	0.56 (0.93)	0.67 (1.0)	0.55 (0.98)	0.92 (1.2)	0.67 (1.1)
トリクロロエチレン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.45 (0.52)	0.49 (0.56)	0.74 (0.76)	0.87 (0.81)	0.97 (0.93)	1.3 (1.2)
テトラクロロエチレン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.072 (0.065)	0.078 (0.078)	0.089 (0.093)	0.070 (0.067)	0.13 (0.10)	0.26 (0.23)
ジクロロメタン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.6 (1.8)	3.1 (2.8)	2.0 (2.0)	5.3 (3.2)	1.7 (2.4)	2.0 (2.5)
アクリロニトリル	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.066 (0.055)	0.070 (0.075)	0.065 (0.065)	0.064 (0.046)	0.078 (0.063)	0.071 (0.076)
塩化ビニルモノマー	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.026 (0.029)	0.029 (0.023)	0.031 (0.040)	0.031 (0.033)	0.028 (0.028)	0.029 (0.025)
クロロホルム	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.19 (0.17)	0.29 (0.19)	0.25 (0.19)	0.25 (0.22)	0.21 (0.21)	0.33 (0.24)
1,2-ジクロロエタン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.081 (0.15)	0.085 (0.15)	0.080 (0.13)	0.088 (0.12)	0.080 (0.14)	0.090 (0.13)
1,3-ブタジエン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.11 (0.052)	0.10 (0.062)	0.12 (0.065)	0.089 (0.051)	0.20 (0.15)	0.12 (0.13)
塩化メチル	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.6 (1.8)	1.4 (1.6)	1.4 (1.6)	1.5 (1.7)	1.5 (1.7)	1.4 (1.6)
トルエン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	10 (7.8)	7.6 (9.0)	9.2 (9.4)	12 (11)	12 (11)	19 (20)
キシレン類	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.0 (1.6)	2.2 (1.8)	2.3 (2.2)	2.6 (2.4)	2.8 (2.4)	3.7 (3.0)
アセトアルデヒド	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.6 (1.8)	1.7 (1.9)	2.1 (2.4)	1.9 (1.8)	1.9 (2.3)	1.9 (2.1)
ホルムアルデヒド	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.3 (3.3)	2.3 (3.5)	2.9 (4.2)	2.5 (3.1)	2.3 (3.5)	2.7 (3.6)
酸化エチレン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.047 (0.080)	0.049 (0.058)	0.064 (0.082)	0.061 (0.096)	0.062 (0.070)	0.052 (0.071)
ベンゾ[a]ピレン	ng/m^3	0.049 (0.069)	0.066 (0.092)	0.081 (0.090)	0.085 (0.079)	0.12 (0.13)	0.10 (0.13)
クロム及び その化合物	ng/m^3	1.7 (3.2)	1.6 (3.1)	2.1 (2.7)	1.7 (2.6)	2.7 (3.8)	4.8 (6.2)
水銀及び その化合物	ng/m^3	1.8 (2.0)	1.8 (2.1)	1.8 (1.9)	1.6 (1.9)	1.9 (2.1)	1.8 (2.0)
ニッケル 化合物	ng/m^3	0.86 (2.2)	1.0 (2.2)	1.1 (2.4)	1.1 (2.4)	1.4 (3.0)	2.2 (3.9)
ヒ素及び その化合物	ng/m^3	0.55 (0.64)	0.50 (0.67)	0.56 (0.69)	0.58 (0.66)	0.61 (0.77)	0.63 (0.79)
ベリリウム及 びその化合物	ng/m^3	0.004 (0.006)	0.004 (0.006)	0.004 (0.006)	0.004 (0.006)	0.004 (0.006)	0.004 (0.006)
マンガン及び その化合物	ng/m^3	11 (16)	11 (15)	12 (16)	11 (14)	13 (16)	25 (22)
亜鉛及び その化合物	ng/m^3	35 (40)	34 (47)	45 (57)	38 (41)	54 (65)	78 (110)
バナジウム及 びその化合物	ng/m^3	0.97 (1.8)	1.1 (1.6)	1.2 (1.4)	1.0 (1.3)	1.3 (1.5)	2.0 (1.9)
カドミウム及 びその化合物	ng/m^3	0.12 (0.14)	0.11 (0.15)	0.13 (0.15)	0.13 (0.14)	0.12 (0.15)	0.11 (0.16)
鉛及び その化合物	ng/m^3	4.4 (4.3)	3.6 (4.2)	5.1 (5.3)	7.0 (4.5)	6.4 (7.9)	12 (7.2)
浮遊粉じん	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	25 (30)	28 (33)	27 (31)	25 (28)	42 (38)	44 (45)

上段は令和4年度、下段()内は令和3年度の値を表す

表 I-5 各物質の地点別年平均濃度（政令市調査地点①）

物質名・単位		さいたま市							
		全国標準監視地点		地域特設監視地点					
		一般環境	沿道	一般環境				沿道	
		さいたま市役所 測定局	三橋自排 測定局	大宮区役所	健康科学研究 センター	宮原測定局	岩槻測定局	曲本自排 測定局	大和田自排 測定局
ベンゼン	μg/m ³	0.61 (0.72)	0.77 (0.88)	0.57 (0.70)	0.60 (0.72)	0.67 (-)	0.71 (0.71)	0.73 (0.83)	0.79 (0.79)
トリクロエチレン	μg/m ³	0.71 (0.81)	1.0 (0.98)	0.66 (0.77)	0.73 (0.79)	1.0 (-)	0.87 (0.85)	-	-
テトラクロエチレン	μg/m ³	0.21 (0.12)	0.081 (0.073)	0.088 (0.081)	0.11 (0.098)	0.069 (-)	0.087 (0.10)	-	-
ジクロロメタン	μg/m ³	1.5 (1.7)	1.5 (1.8)	1.3 (1.6)	3.9 (1.8)	1.5 (-)	2.1 (2.1)	-	-
アクリロトリル	μg/m ³	0.022 (0.027)	0.023 (0.033)	0.020 (0.026)	0.016 (0.029)	0.020 (-)	0.025 (0.026)	-	-
塩化ビニルモノマー	μg/m ³	0.009 (0.013)	0.006 (0.015)	0.009 (0.014)	0.011 (0.015)	0.009 (-)	0.013 (0.031)	-	-
クロロホルム	μg/m ³	0.17 (0.18)	0.16 (0.16)	0.16 (0.17)	0.21 (0.19)	0.15 (-)	0.14 (0.15)	-	-
1,2-ジクロロエタン	μg/m ³	0.060 (0.16)	0.070 (0.18)	0.060 (0.18)	0.060 (0.16)	0.090 (-)	0.070 (0.19)	-	-
1,3-ブタジエン	μg/m ³	0.048 (0.060)	0.087 (0.090)	0.044 (0.054)	0.049 (0.077)	0.065 (-)	0.069 (0.039)	0.079 (0.099)	0.082 (0.059)
塩化メチル	μg/m ³	1.4 (1.6)	1.4 (1.6)	1.4 (1.6)	1.4 (1.6)	1.5 (-)	1.5 (1.7)	-	-
トルエン	μg/m ³	8.1 (7.9)	8.4 (8.2)	7.7 (7.7)	8.5 (7.5)	9.9 (-)	15 (18)	37 (19)	9.7 (9.0)
キシレン類	μg/m ³	0.95 (0.93)	1.3 (1.1)	0.92 (0.99)	1.0 (1.0)	1.3 (-)	1.2 (1.1)	1.8 (1.3)	1.4 (1.0)
アセトアルデヒド	μg/m ³	2.4 (3.0)	2.2 (2.8)	-	2.1 (3.2)	-	-	2.4 (3.4)	1.9 (2.5)
ホルムアルデヒド	μg/m ³	2.3 (2.9)	2.1 (2.8)	-	2.0 (4.6)	-	-	2.9 (3.8)	1.8 (2.4)
酸化エチレン	μg/m ³	0.070 (0.098)	0.075 (0.094)	-	0.066 (0.10)	-	-	-	0.077 (0.097)
ベンゾ[a]ピレン	ng/m ³	0.097 (0.11)	0.094 (0.12)	-	0.088 (0.11)	-	-	0.11 (0.13)	0.10 (0.11)
クロム及び その化合物	ng/m ³	2.9 (4.1)	3.3 (4.3)	3.2 (3.9)	3.7 (4.6)	-	-	-	-
水銀及び その化合物	ng/m ³	1.8 (2.0)	1.8 (2.1)	-	-	-	-	-	-
ニッケル 化合物	ng/m ³	1.7 (1.6)	1.8 (2.1)	1.9 (1.8)	1.6 (1.8)	-	-	-	-
ヒ素及び その化合物	ng/m ³	0.77 (1.0)	0.77 (0.94)	0.75 (0.92)	0.84 (1.1)	-	-	-	-
ベリリウム及 びその化合物	ng/m ³	0.055 (0.013)	0.060 (0.018)	0.060 (0.014)	0.060 (0.016)	-	-	-	-
マンガン及び その化合物	ng/m ³	19 (19)	19 (22)	20 (21)	21 (20)	-	-	-	-
亜鉛及び その化合物	ng/m ³	49 (69)	69 (72)	57 (80)	54 (65)	-	-	-	-
バナジウム及 びその化合物	ng/m ³	2.0 (1.7)	1.9 (2.2)	1.7 (1.7)	2.0 (1.7)	-	-	-	-
カドミウム及 びその化合物	ng/m ³	0.14 (0.22)	0.14 (0.22)	0.14 (0.21)	0.14 (0.21)	-	-	-	-
鉛及び その化合物	ng/m ³	13 (7.4)	24 (7.7)	15 (7.7)	25 (6.9)	-	-	-	-
浮遊粉じん	μg/m ³	-	-	-	-	-	-	-	-

上段は令和4年度、下段()内は令和3年度の値を表す

表 I - 6 各物質の地点別年平均濃度（政令市調査地点②）

物質名・単位	地点名	川越市			川口市			
		全国標準監視地点		地域特設監視地点	全国標準監視地点	地域特設監視地点		
		一般環境		沿道	一般環境			沿道
		川越測定局	高階測定局	仙波測定局	南平測定局	芝測定局	石神配水場	神根測定局
ベンゼン	μg/m ³	0.61 (0.75)	0.57 (0.75)	0.67 (-)	0.81 (0.84)	0.69 (0.74)	-	0.80 (0.83)
トリクロロエチレン	μg/m ³	0.64 (0.75)	1.0 (0.98)	-	1.7 (2.4)	0.64 (0.66)	-	-
テトラクロロエチレン	μg/m ³	0.085 (0.11)	0.085 (0.12)	-	0.73 (0.60)	0.087 (0.084)	-	-
ジクロロメタン	μg/m ³	3.6 (3.6)	2.6 (3.6)	-	2.4 (2.6)	1.3 (1.7)	-	-
アクリロニトリル	μg/m ³	0.021 (0.041)	0.028 (0.16)	-	0.057 (0.037)	0.037 (0.020)	-	-
塩化ビニルモノマー	μg/m ³	0.0075 (0.014)	0.0032 (0.013)	-	0.010 (0.0076)	0.007 (0.0063)	-	-
クロロホルム	μg/m ³	0.14 (0.16)	0.13 (0.17)	-	0.25 (0.23)	0.19 (0.17)	-	-
1,2-ジクロロエタン	μg/m ³	0.072 (0.21)	0.069 (0.19)	-	0.11 (0.094)	0.11 (0.10)	-	-
1,3-ブタジエン	μg/m ³	0.093 (0.098)	0.089 (0.14)	0.12 (-)	0.077 (0.077)	0.051 (0.048)	-	0.075 (0.056)
塩化メチル	μg/m ³	1.3 (1.4)	1.3 (1.4)	-	1.3 (1.5)	1.4 (1.5)	-	-
トルエン	μg/m ³	8.7 (9.2)	7.8 (8.4)	8.6 (-)	28 (19)	7.1 (7.7)	-	8.5 (9.9)
キシレン類	μg/m ³	2.0 (2.0)	2.1 (2.3)	2.3 (-)	-	-	-	-
アセトアルデヒド	μg/m ³	3.0 (2.8)	2.7 (2.6)	3.0 (-)	2.3 (2.9)	2.4 (2.6)	2.1 (3.1)	2.8 (2.7)
ホルムアルデヒド	μg/m ³	2.6 (3.3)	2.2 (3.1)	2.3 (-)	2.5 (2.9)	2.7 (2.6)	2.4 (2.9)	2.8 (2.4)
酸化エチレン	μg/m ³	0.044 (0.056)	0.049 (0.060)	-	0.081 (0.087)	0.071 (0.076)	-	-
ベンゾ[a]ピレン	ng/m ³	0.11 (0.12)	0.10 (0.12)	0.092 (-)	0.088 (0.098)	0.059 (0.076)	0.075 (0.10)	0.099 (0.12)
クロム及びその化合物	ng/m ³	7.1 (3.7)	2.7 (3.2)	-	6.5 (4.1)	3.3 (2.3)	4.7 (3.2)	-
水銀及びその化合物	ng/m ³	1.6 (1.7)	1.6 (1.8)	-	1.6 (1.5)	1.7 (1.6)	-	-
ニッケル化合物	ng/m ³	7.0 (8.9)	1.4 (2.2)	-	3.6 (1.6)	2.4 (1.1)	2.4 (1.2)	-
ヒ素及びその化合物	ng/m ³	0.74 (0.88)	0.71 (0.88)	-	1.0 (0.46)	0.92 (0.45)	1.0 (0.41)	-
ベリリウム及びその化合物	ng/m ³	0.016 (0.016)	0.020 (0.018)	-	0.017 (0.008)	0.044 (0.009)	0.021 (0.007)	-
マンガン及びその化合物	ng/m ³	20 (18)	19 (21)	-	33 (11)	25 (8.4)	23 (8.6)	-
亜鉛及びその化合物	ng/m ³	-	-	-	-	-	-	-
バナジウム及びその化合物	ng/m ³	-	-	-	-	-	-	-
カドミウム及びその化合物	ng/m ³	-	-	-	-	-	-	-
鉛及びその化合物	ng/m ³	-	-	-	-	-	-	-
浮遊粉じん	μg/m ³	-	-	-	-	-	-	-

上段は令和4年度、下段()内は令和3年度の値を表す

表 I - 7 各物質の地点別年平均濃度（政令市調査地点③）

物質名・単位	地点名	所沢市		越谷市
		全国標準 監視地点	地域特設 監視地点	全国標準 監視地点
		一般環境	沿道	一般環境
		北野測定局	和ヶ原測定局	東越谷測定局
ベンゼン	μg/m ³	0.55 (0.76)	0.67 (0.88)	0.73 (0.81)
トリクロロエチレン	μg/m ³	0.81 (1.6)	-	1.0 (0.81)
テトラクロロエチレン	μg/m ³	0.10 (0.070)	-	0.097 (0.082)
ジクロロメタン	μg/m ³	1.2 (1.4)	-	3.0 (5.3)
アクリロニトリル	μg/m ³	0.024 (0.028)	-	0.033 (0.033)
塩化ビニルモノマー	μg/m ³	0.0029 (0.012)	-	0.014 (0.027)
クロロホルム	μg/m ³	0.12 (0.18)	-	0.16 (0.18)
1,2-ジクロロエタン	μg/m ³	0.065 (0.12)	-	0.059 (0.17)
1,3-ブタジエン	μg/m ³	0.060 (0.075)	0.087 (0.11)	0.095 (0.11)
塩化メチル	μg/m ³	1.2 (1.6)	-	1.5 (1.8)
トルエン	μg/m ³	6.8 (7.8)	7.9 (9.6)	9.1 (8.8)
キシレン類	μg/m ³	1.7 (1.3)	2.2 (1.4)	1.3 (1.2)
アセトアルデヒド	μg/m ³	2.8 (2.9)	3.0 (3.2)	2.3 (2.4)
ホルムアルデヒド	μg/m ³	2.9 (2.6)	3.0 (3.9)	2.5 (2.8)
酸化エチレン	μg/m ³	0.044 (0.054)	-	0.079 (0.070)
ベンゾ[a]ピレン	ng/m ³	0.079 (0.12)	0.088 (0.13)	0.11 (0.11)
クロム及び その化合物	ng/m ³	1.9 (3.3)	-	7.2 (7.2)
水銀及び その化合物	ng/m ³	1.7 (1.8)	-	1.8 (1.7)
ニッケル 化合物	ng/m ³	1.1 (2.0)	-	1.8 (1.6)
ヒ素及び その化合物	ng/m ³	0.60 (0.63)	-	0.66 (0.76)
ベリリウム及 びその化合物	ng/m ³	0.014 (0.0060)	-	0.004 (0.0056)
マンガン及び その化合物	ng/m ³	12 (14)	-	14 (17)
亜鉛及び その化合物	ng/m ³	34 (35)	-	-
バナジウム及 びその化合物	ng/m ³	1.4 (1.4)	-	-
カドミウム及 びその化合物	ng/m ³	0.12 (0.16)	-	-
鉛及び その化合物	ng/m ³	5.2 (4.3)	-	-
浮遊粉じん	μg/m ³	-	-	-

上段は令和4年度、下段()内は令和3年度の値を表す

表 I - 8 環境基準達成率の推移

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
ベンゼン	17.4% (4/23)	43.5% (10/23)	73.9% (17/23)	70.8% (17/24)	95.8% (23/24)	95.8% (23/24)	100% (24/24)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (26/26)	100% (26/26)
トリクロロエチレン	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (21/21)	100% (21/21)
テトラクロロエチレン	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (21/21)	100% (21/21)
ジクロロメタン	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (21/21)	100% (21/21)
(つづき)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
ベンゼン	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (22/22)
トリクロロエチレン	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (18/18)
テトラクロロエチレン	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (18/18)
ジクロロメタン	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (18/18)
(つづき)	R4	上段：環境基準達成率 下段：(達成地点数/測定地点数) (ジクロロメタンの平成10年～12年の数値は、平成13年4月に設定された環境基準と比較した場合の参考値)										
ベンゼン	100% (23/23)											
トリクロロエチレン	100% (18/18)											
テトラクロロエチレン	100% (18/18)											
ジクロロメタン	100% (18/18)											

表 I - 9 国内外の環境基準、指針値等

物質名	基準値等 (※ 評価は、年平均値との比較で行う。)			
	環境基準 (※1)	指針値 (※2)	EPA (※3)	WHO (※4)
ベンゼン	3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	1.3~4.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.7 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
トリクロロエチレン	130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	23 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
テトラクロロエチレン	200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	40 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	250 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
ジクロロメタン	150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	—	3000 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
アクリロニトリル	—	2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
塩化ビニルモノマー	—	10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
塩化メチル	—	94 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	—
クロロホルム	—	18 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.4 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
1,2-ジクロロエタン	—	1.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.4 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	700 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
1,3-ブタジエン	—	2.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
アセトアルデヒド	—	120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
ホルムアルデヒド	—	—	0.8 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
ベンゾ[a]ピレン	—	—	—	0.12 ng/m^3
水銀及びその化合物	—	40 ng/m^3	—	1000 ng/m^3
ニッケル化合物	—	25 ng/m^3	40 ng/m^3	25 ng/m^3
ヒ素及びその化合物	—	6 ng/m^3	2 ng/m^3	6.6 ng/m^3
ベリリウム及びその化合物	—	—	4 ng/m^3	—
マンガン及びその化合物	—	140 ng/m^3	—	0.15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
六価クロム化合物	—	—	0.8 ng/m^3	0.25 ng/m^3

※1 人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準
(環境基本法第16条第1項)

※2 環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値
(中央環境審議会「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について(第7・8・9・10・11・12次答申)」)

※3 EPA (米国環境保護庁) が設定したユニットリスクに基づく 10^{-5} リスクレベル換算値
(EPA ホームページ Integrated Risk Information System (IRIS))

※4 WHO (世界保健機関) 欧州地域事務局のガイドライン値あるいは 10^{-5} リスクレベル換算値
(Air Quality Guidelines for Europe Second Edition(2000))

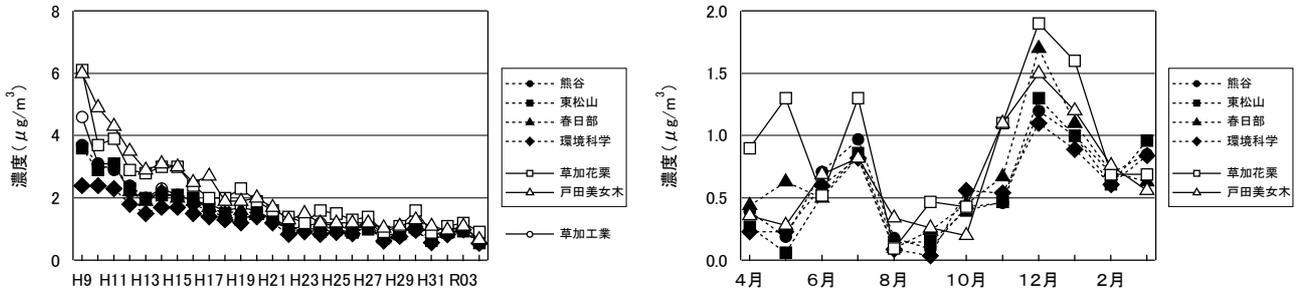
ジクロロメタン及び1,2-ジクロロエタンは一日平均値で評価

ホルムアルデヒドは30分平均値で評価

(参考：県実施調査の詳細)

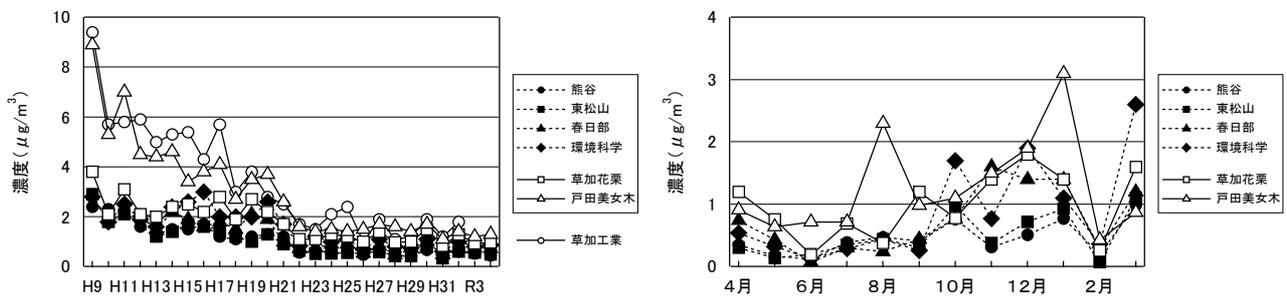
以下、県が測定を行っている物質ごとの経年変化及び経月変化をグラフで示し、調査結果を概説する。令和3年度から秩父と草加工業での測定は廃止されたが、参考値として経年変化のグラフに掲載する。

(1) ベンゼン



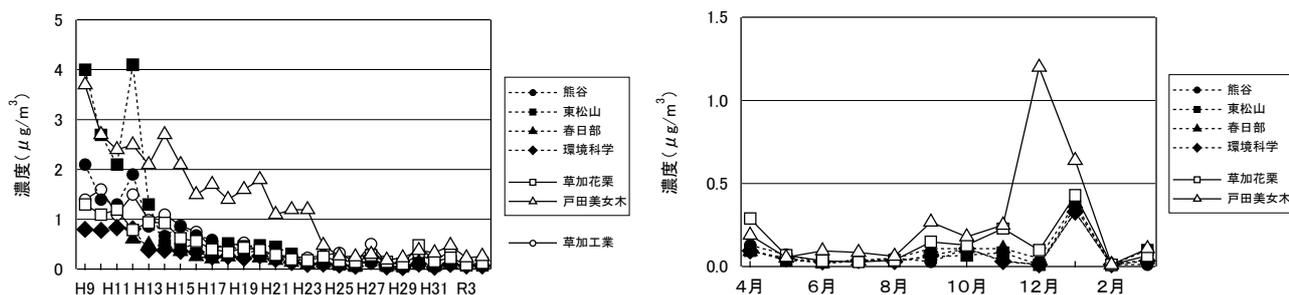
全ての地点で環境基準(3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)を下回る濃度であった。長期的に続いていた濃度の低下傾向が、近年は鈍化し、ほぼ横ばいで推移している。平成15年度までは環境基準値付近で変動していた沿道2地点においても、現在は一般環境に近い濃度となっている。ベンゼンは自動車排出ガスが主な発生源と考えられ、長期的な低下傾向は燃料対策等の効果が表れた結果と考えられる。令和4年度は令和3年度と比べると、全ての地点で濃度がやや低下した。月変化では、多くの地点で5月、8月、9月に低濃度が見られたほか、全ての地点で12月に最大値が見られるなど、年間を通じて類似した濃度変動が見られた。

(2) トリクロロエチレン



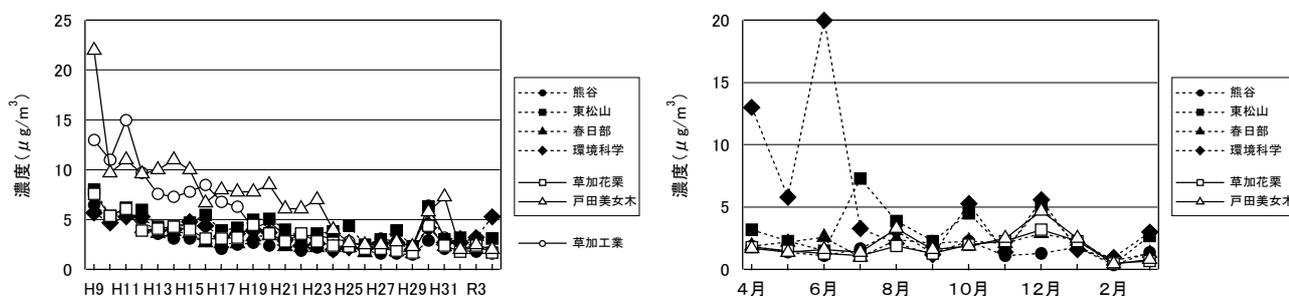
全ての地点で環境基準(130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)の1/100前後か、それを下回る濃度であった。長期的な濃度の低下傾向は、平成21年度から鈍化し、近年はほぼ横ばいで推移している。令和4年度は令和3年度と比べると、全ての地点で濃度は横ばいであった。月変化では、ややばらつきがあるものの、多くの地点で6月と2月に低濃度、1月と3月に高濃度が見られるなど、類似した濃度変動が見られた。

(3) テトラクロロエチレン



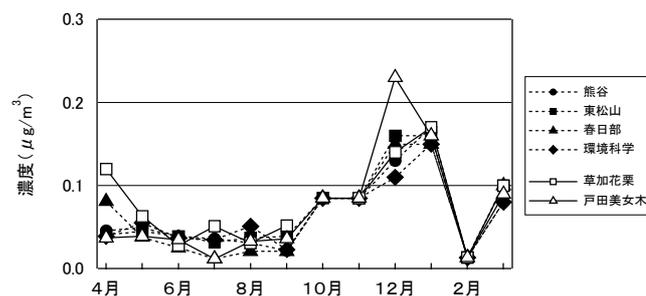
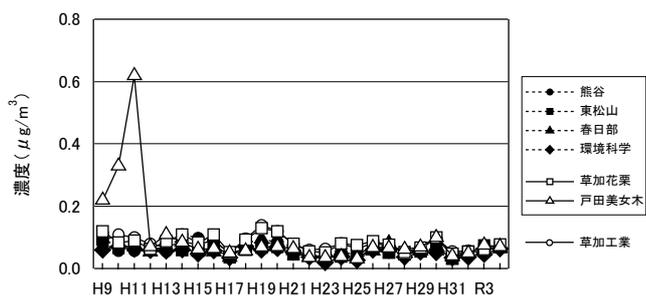
全ての地点で環境基準(200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)の1/800前後か、それを下回る濃度であった。かつて高濃度であった東松山で平成14年度に、同様に高濃度であった戸田美女木で平成24年度に他地点と同程度まで低下して以降、濃度は横ばいないしは微増傾向で推移している。令和4年度は令和3年度と比べると、全ての地点で濃度は横ばいであった。月変化を見ると、戸田美女木において12月に高濃度となった以外は、全ての地点でほぼ同様の濃度変動を示した。

(4) ジクロロメタン



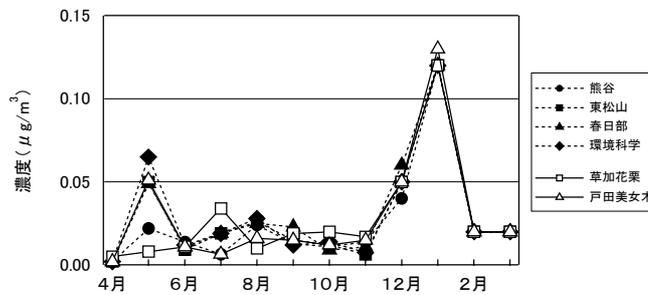
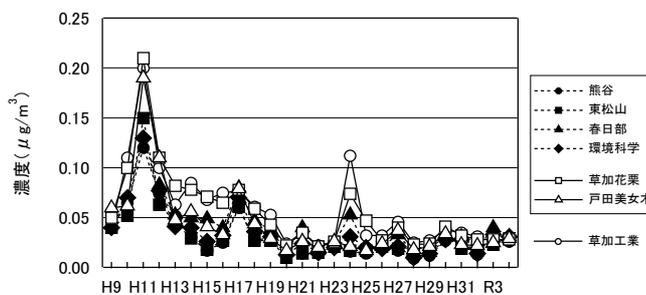
全ての地点で環境基準(150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)の1/30前後か、それを下回る濃度であった。平成30年度、令和元年度と、一時的な濃度の上昇により、長期的に続いていた濃度の低下傾向が途絶えた地点も見られたが、令和2年度以降はそれ以前の状況まで戻っている。令和4年度は令和3年度と比べると、環境科学でやや濃度が上昇した以外は、全ての地点で濃度は横ばいであった。月変化を見ると、環境科学において4月、6月に、東松山において7月に高濃度となった以外は、おおむね全ての地点で類似した濃度変動が見られた。

(5) アクリロニトリル



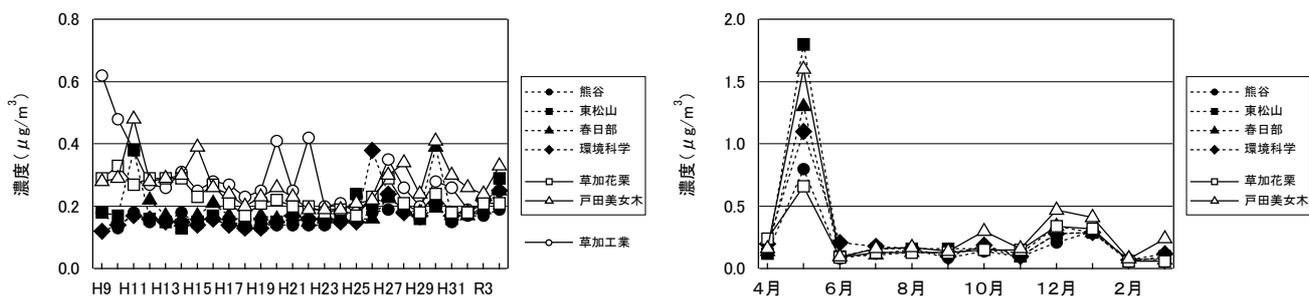
全ての地点で指針値 ($2 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の $1/25$ 前後か、それを下回る濃度であった。平成12年度から濃度は全ての地点でほぼ横ばい傾向が続いており、令和4年度も全ての地点で同様であった。月変化では、地点間のばらつきは小さく、多くの地点で上半期は低濃度、2月を除いた下半期は高濃度で推移するなど、類似した濃度変動が見られた。

(6) 塩化ビニルモノマー



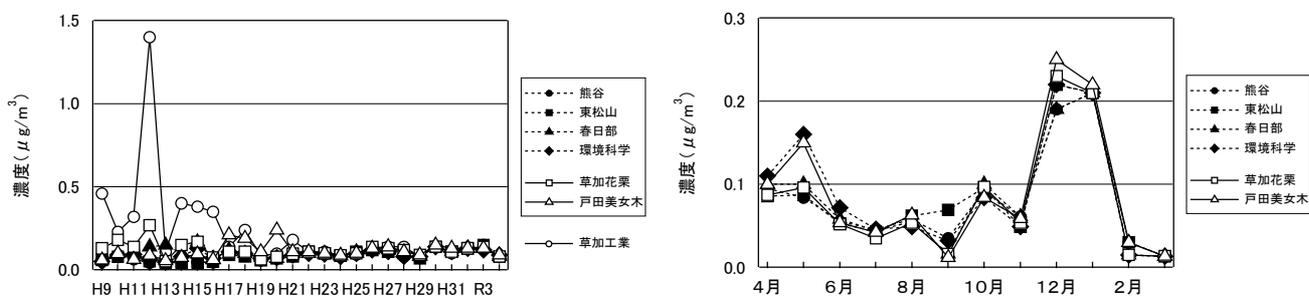
全ての地点で指針値 ($10 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の $1/250$ 前後か、それを下回る濃度であった。濃度は平成11年度まで上昇し、それ以降は長期的に低下傾向が続いていたが、近年は若干の増減を繰り返しながら横ばい続けている。令和4年度は令和3年度と比べると、全ての地点で濃度は横ばいであった。月変化では、地点間のばらつきは小さく、全ての地点で12月と1月に高濃度が見られ、その他の月には多くの地点が低濃度で推移するなど、同様の濃度変動が見られた。

(7) クロロホルム



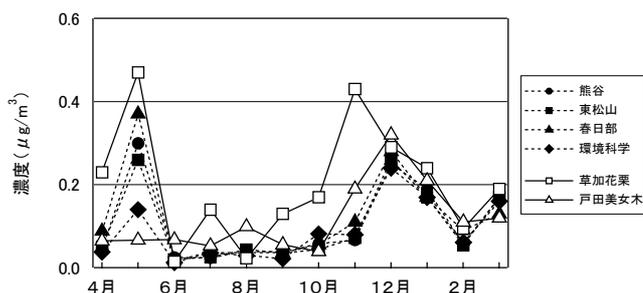
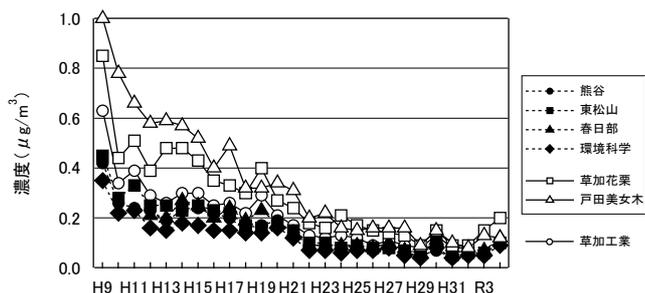
全ての地点で指針値 ($18 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の $1/60$ 前後か、それを下回る濃度であった。年度によって、地点間のばらつきが大きく、濃度は平成21年度頃から増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移している。令和4年度は令和3年度と比べると、東松山において濃度がやや上昇した以外は、全ての地点で濃度は横ばいであった。月変化では、地点間のばらつきは小さく、全ての地点で5月に高濃度が見られた以外は、比較的低濃度で推移しており、おおむね全ての地点で同様の濃度変動を示した。

(8) 1,2-ジクロロエタン



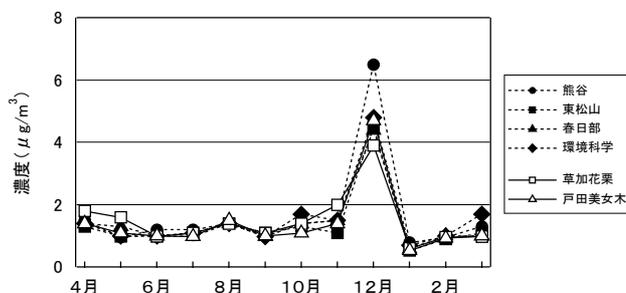
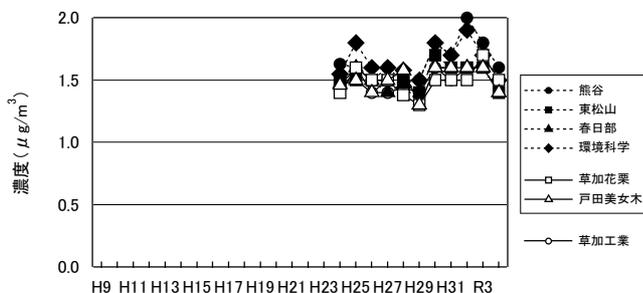
全ての地点で指針値 ($1.6 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の $1/15$ を下回る濃度であった。しばしば他の地点と比べて高濃度であった草加工業で平成17年度に濃度が低下して以降、ほぼ横ばいで推移しており、地点間の濃度差もほとんど見られない。令和4年度については、全ての地点で令和3年度よりもやや濃度が低下した。月変化では、地点間の濃度差は比較的小さく、12月と1月に高濃度が見られるなど、全ての地点で同様の濃度変動が見られた。

(9) 1,3-ブタジエン



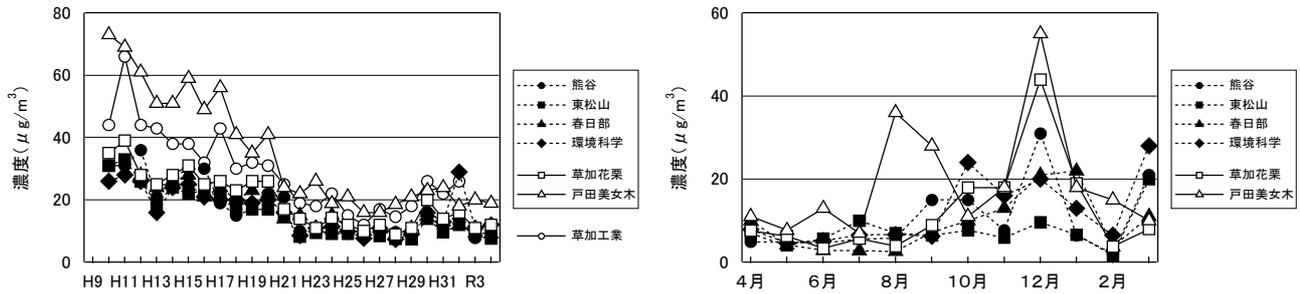
全ての地点で指針値 ($2.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の $1/15$ 前後か、それを下回る濃度であった。調査開始以来、濃度の低下傾向が続いてきたが、近年はほぼ横ばいで推移している。この物質もベンゼン同様、自動車排出ガスが主な発生源とされ、沿道ではやや高濃度傾向が見られる。令和4年度は令和3年度と比べると、一般環境では濃度が上昇したが、沿道2地点で横ばいであった。月変化では、草加花栗において11月に高濃度となった以外は、全ての地点で5月または12月に最大値が、また多くの地点で6月から9月にかけて低濃度が見られるなど、類似した濃度変動が見られた。

(10) 塩化メチル



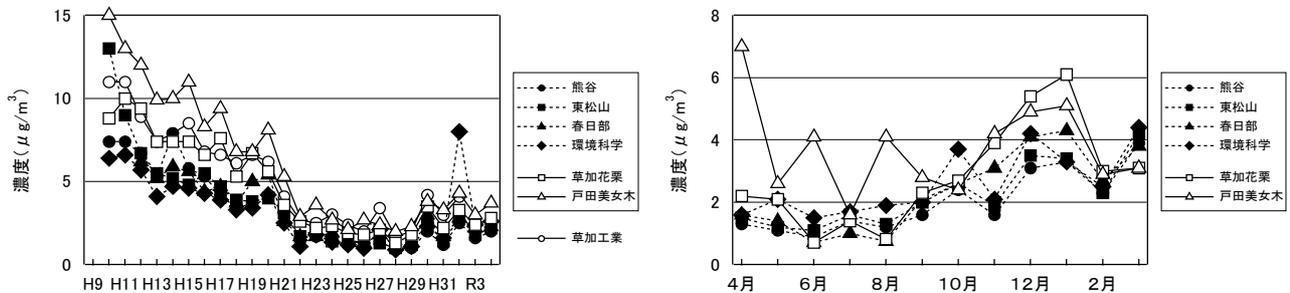
全ての地点で指針値 ($94 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の $1/50$ を下回る濃度であった。調査開始以来、全ての地点において、年平均で $1.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 前後で推移しており、地点間の濃度差はそれほど大きくない。令和4年度は令和3年度と比べると、全ての地点で濃度は横ばいであった。月変化では、全ての地点で12月に最高値が見られた以外には、比較的低濃度で推移しており、基本的な濃度変動の推移はほぼ同様であった。

(11) トルエン



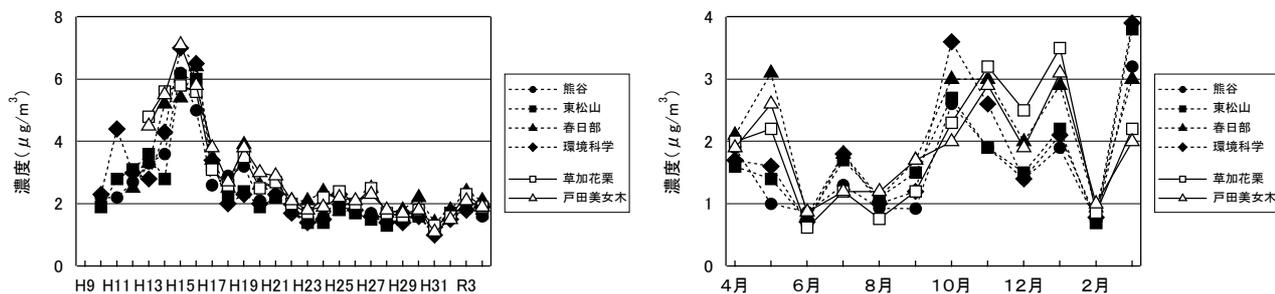
平成26年度を境に、長期的な濃度の低下傾向が微増傾向に転じている。調査開始以来、戸田美女木と草加工業が他の地点と比べて高濃度で推移しているが、令和2年度は環境科学で庁舎修繕による溶剤使用の影響と考えられる高濃度が見られたが、令和3年度には以前の状況まで戻っている。令和4年度は令和3年度と比べると、全ての地点で濃度は横ばいであった。月変化を見ると、ややばらつきは見られるが、戸田美女木において8月に高濃度となった以外は、多くの地点で5月、6月に低濃度、12月、3月に高濃度が見られるなど、類似した濃度変動が見られた。

(12) キシレン類



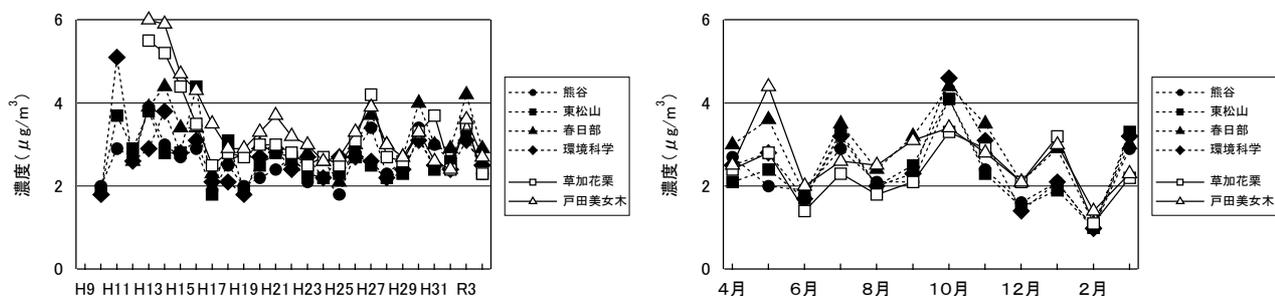
調査開始以来続いてきた長期的な濃度の低下傾向は、平成28年度を境に、上昇に転じている。近年は、沿道2地点が一般環境よりもやや高めに推移している。令和2年度にはトルエン同様、環境科学で庁舎修繕の影響と考えられる高濃度が見られたが、令和3年度には以前の状況まで戻っている。令和4年度は令和3年度と比べると、全ての地点で濃度は横ばいであった。月変化を見ると、ややばらつきは見られるが、春から夏にかけて低濃度で推移し、秋以降に濃度が上昇する傾向が見られるなど、おおむね全ての地点で同様の濃度変動が見られた。

(13) アセトアルデヒド



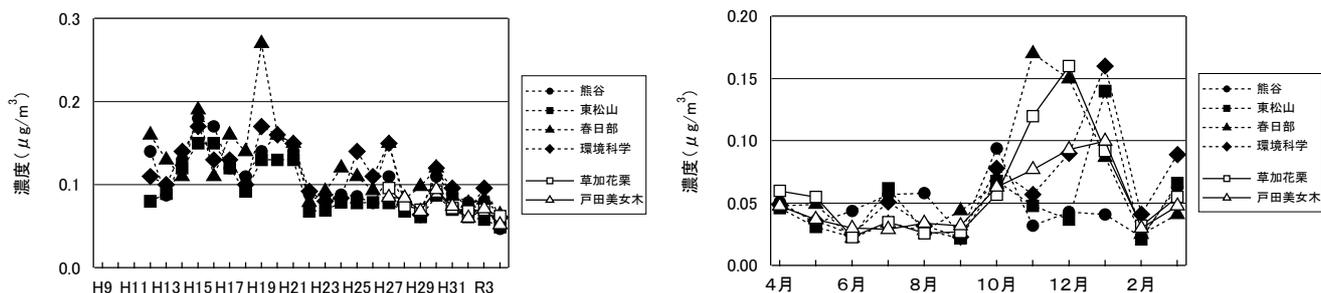
全ての地点で指針値 ($120 \mu\text{g}/\text{m}^3$) 及びEPAリスク換算値 ($5 \mu\text{g}/\text{m}^3$) を下回っていた。平成15年度以降、濃度は低下傾向を示したのち、現在は横ばい傾向を示している。令和4年度は令和3年度と比べると、環境科学を除く5地点で濃度は微減した。月変化では、熊谷、東松山、環境科学は3月、草加花栗、戸田美女木は1月、春日部は3月に最大濃度となり、熊谷、東松山は2月、その他の地点は6月に最小濃度となった。

(14) ホルムアルデヒド



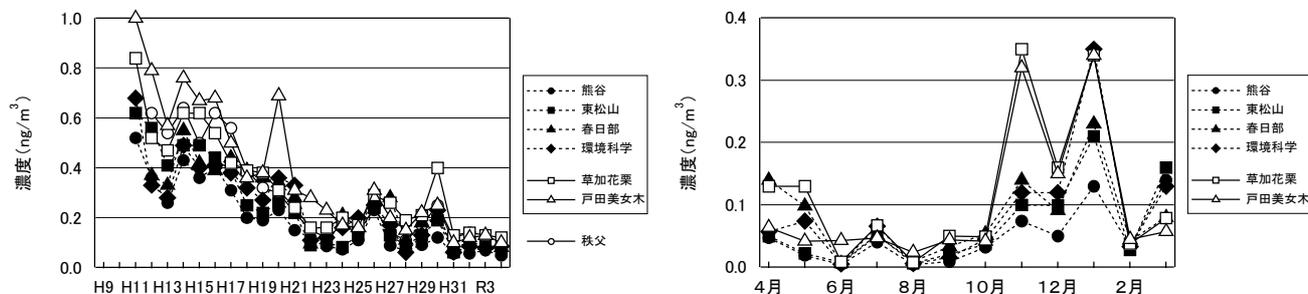
全ての地点でEPAリスク換算値 ($0.8 \mu\text{g}/\text{m}^3$) を超え、その1.2~5.7倍の範囲にある。平成17年度頃までは濃度は低下傾向で推移し、特に沿道の草加花栗と戸田美女木ではそれが顕著であった。その後、濃度は横ばいまたは微増傾向を示している。令和4年度は令和3年度と比べると、全ての地点で低下した。月変化では、戸田美女木は5月、その他の地点は10月に最大濃度となり、全ての地点で2月に最小濃度となった。

(15) 酸化エチレン



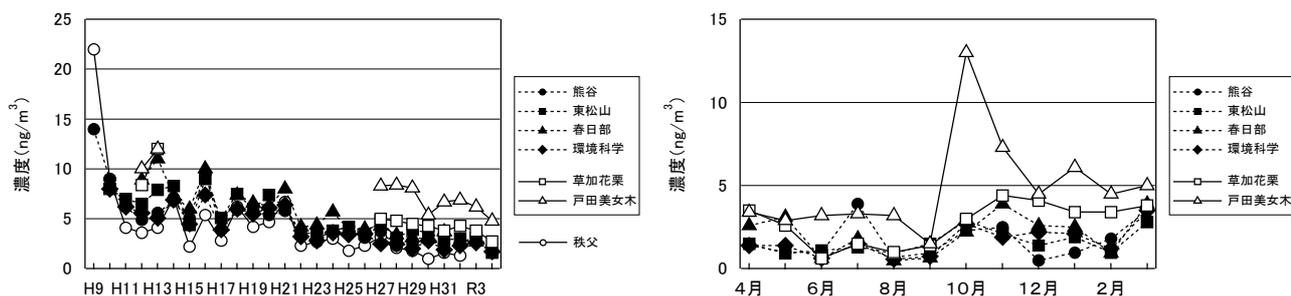
平成22年度以降、全体的に低濃度で推移しており、平成27年度から調査地点に加わった沿道の2地点でも同様の傾向が見られた。令和4年度は全ての地点で令和3年度よりも年平均濃度が低下した。月変化では、熊谷と東松山で1月、春日部と草加花栗で11月と12月に高濃度が見られた。

(16) ベンゾ[a]ピレン



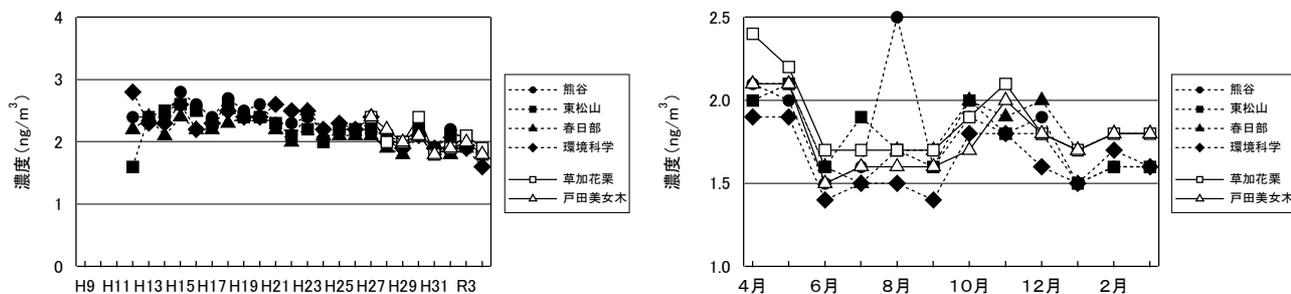
各地点の年平均値をWHOガイドライン値 (0.12 ng/m³) と比べると、草加花栗においてガイドライン値と同じ値であったが、他の地点は下回った。令和4年度は令和3年度と比べると、環境科学でわずかに上昇したものの他の地点は若干低下し、経年変化全体で見れば低い濃度レベルである。月変化を見ると、1月が全体的に高い傾向だったが、11月、12月、3月なども濃度が高い地点がみられた。

(17) クロム及びその化合物



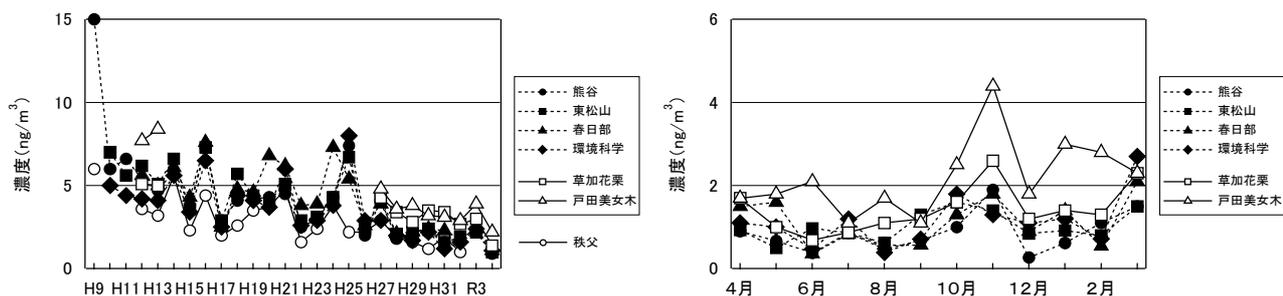
令和3年度と比較すると全ての地点で低下した。沿道の2地点は一般環境と比べて濃度が高い傾向で、特に戸田美女木の濃度が高かった。月変化では、全体的に変動が見られなかった一方で、戸田美女木では10月に最大値が見られ、4月から9月に低く、10月から3月に高い傾向があった。この傾向はマンガン及びその化合物と類似していた。

(18) 水銀及びその化合物



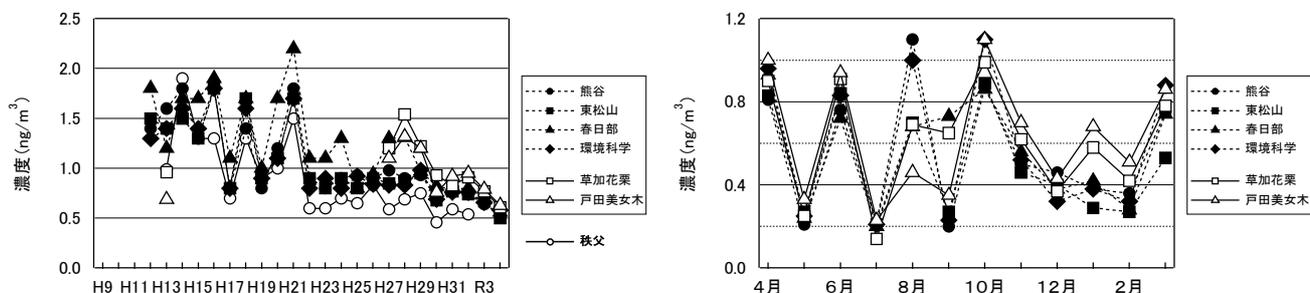
全ての地点で指針値 (40 ng/m³) の1/20を下回る濃度であった。令和3年度と比べると全ての地点で低下した。一般環境と沿道で差は見られず、草加花栗が最大、環境科学が最小であった。最大値は8月の熊谷であったが、草加花栗は4月と5月に濃度上昇が見られた。全体的に濃度変動は類似しており、地点間の濃度差も小さかった。

(19) ニッケル化合物



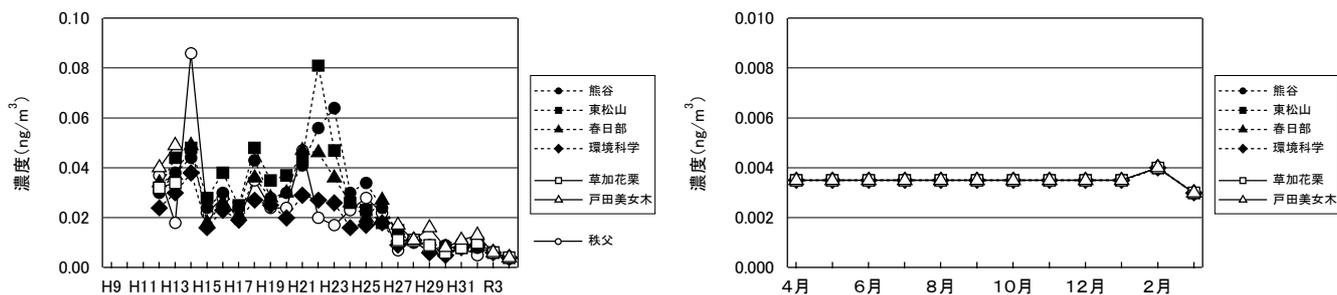
全ての地点で指針値 (25 ng/m³) の 1/10 以下の濃度であった。令和 3 年度と比べて、全ての地点で濃度が低下した。一般環境と比べて沿道が高い傾向が見られ、戸田美女木が最大であった。月変化では 1 1 月に戸田美女木で最大値が見られ、次いで 1 月、2 月も濃度が比較的高かった。一般環境の濃度変動は類似しており、3 月に全体的に濃度が上昇していた。

(20) ヒ素及びその化合物



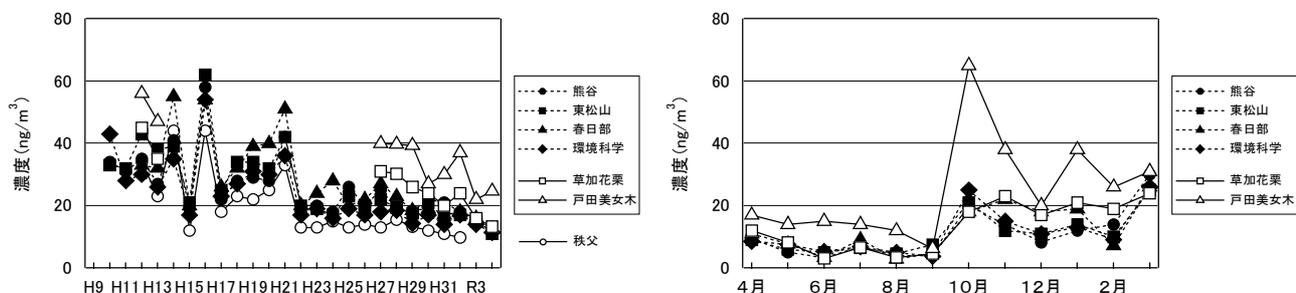
全ての地点で指針値 (6 ng/m³) の 1/9 以下の濃度であった。令和 3 年度と比較すると、全ての地点で濃度が低下した。一般環境と沿道の濃度差はほぼないが、わずかに沿道の方が高かった。月変化では、地点間の濃度変動は類似しており、4 月、6 月、8 月、10 月に上昇する傾向が見られた。

(21) ベリリウム及びその化合物



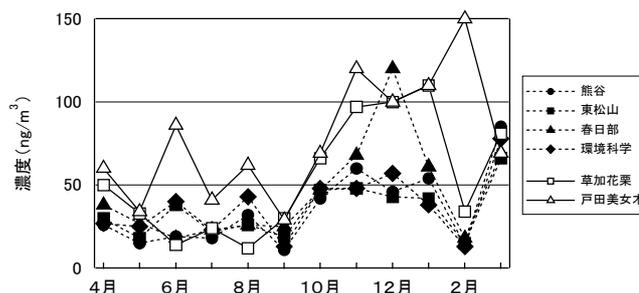
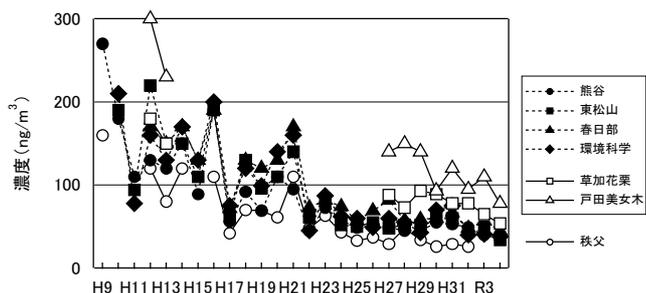
全ての地点でEPAリスク換算値(4 ng/m³)の1/1000以下の濃度であった。令和4年度は、全ての地点の月別濃度が検出下限値未満であったため、濃度の増減については評価できない。同じ理由により、地点間の濃度差が見られなかった。

(22) マンガン及びその化合物



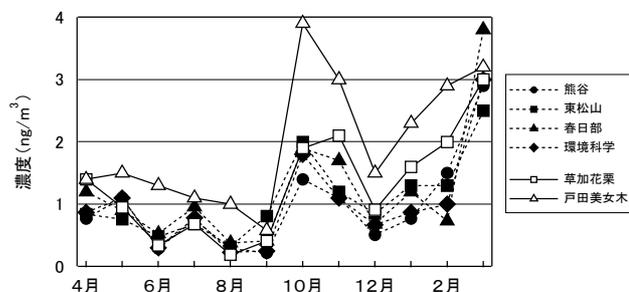
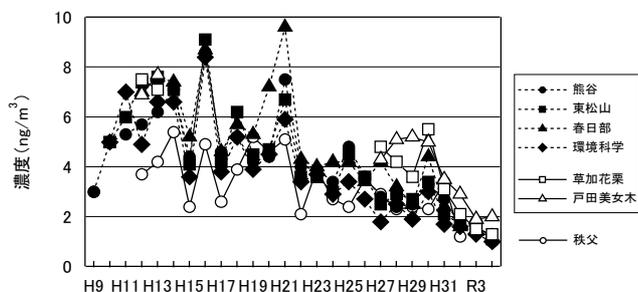
全ての地点で指針値(140 ng/m³)の1/5以下の濃度であった。令和3年度と比べると、戸田美女木でわずかに上昇し、他の地点では低下した。月変化でも戸田美女木の濃度は比較的高く、10月に最大値が見られ、4月から9月に低く、10月から3月に高い傾向があった。この傾向はクロム及びその化合物と類似していた。その他の地点の月変化は類似しており、10月から3月に全体的に濃度が上昇する傾向があった。

(23) 亜鉛及びその化合物



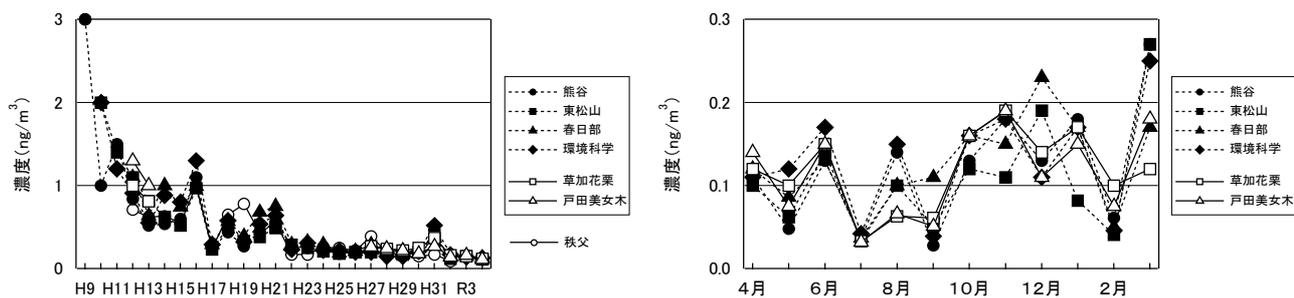
令和3年度と比べると、全ての地点で濃度が低下した。一般環境と比べて沿道の2地点は濃度が高い傾向が見られた。月変化では11月～2月に沿道2地点での濃度が上昇した。加えて、12月には春日部でも濃度上昇が見られた。

(24) バナジウム及びその化合物



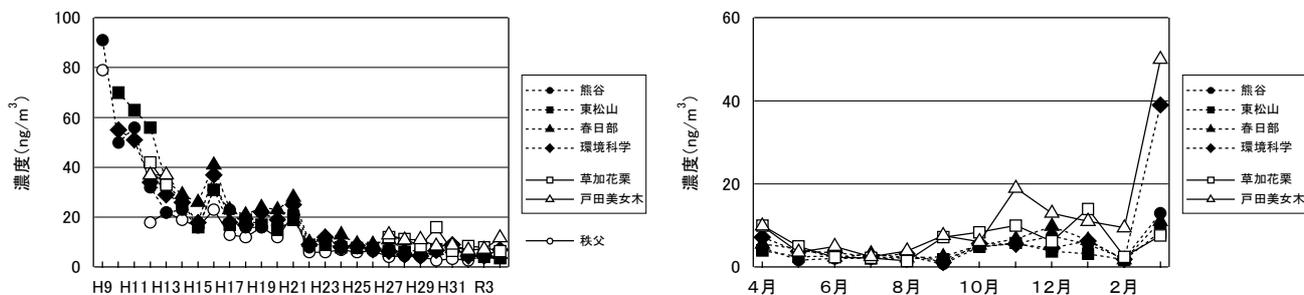
令和3年度と比べると、戸田美女木を除いた全ての地点で濃度が低下した。戸田美女木が最大、熊谷が最小であった。月変化は全体的に類似しており、10月、11月、2月、3月に濃度上昇が見られた。戸田美女木の濃度が比較的高く、10月に最大値となった。10月の戸田美女木での濃度上昇はクロム及びその化合物、マンガン及びその化合物でも見られた。3月には全ての地点で濃度が上昇し、春日部で最も上昇した。

(25) カドミウム及びその化合物



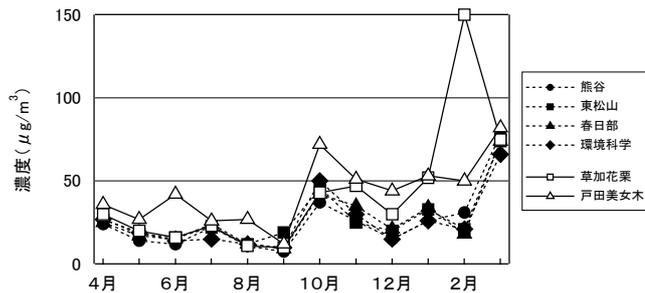
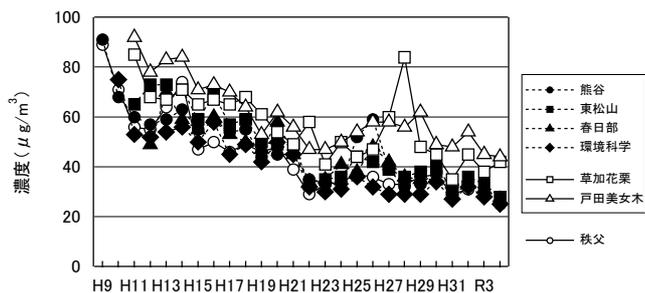
令和3年度と比べると、全ての地点で濃度が低下した。年平均値の地点差はほとんどなく、沿道と一般環境の濃度差はほとんどなかった。各地点の月変化は類似しており、最大値は3月に東松山と環境科学で見られた。

(26) 鉛及びその化合物



令和3年度の濃度と比べると、東松山と草加花栗で低下し、戸田美女木と環境科学で上昇し、それら以外は横ばいであった。近年の傾向としては低い濃度で推移している。一般環境と比べると沿道の2地点で高い傾向が見られた。月変化では、3月に戸田美女木と環境科学で濃度上昇が見られた。3月の濃度上昇はバナジウム及びその化合物とカドミウム及びその化合物でも見られた。

(27) 浮遊粉じん



調査開始以来の低下傾向から、平成23年度以降はわずかに上昇傾向を示していたが、平成27年度から平成28年度は再び低下傾向を示す地点が多くなった。その後は小さな上昇と低下を繰り返しながら、全般的には横ばい傾向となっている。令和4年度は令和3年度に比べて若干低下した。月変化では、各地点の濃度変動は概ね類似しているが、沿道である戸田美女木及び草加花栗が相対的に高い傾向を示した。ただ、草加花栗の2月は、沿道である影響よりも乾燥と強風で近傍の土壌が巻き上げられた影響が大きかったと考えられた。

表 I - 10 有害大気汚染物質の調査結果 (県調査地点)

(1) ベンゼン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.39	0.27	0.44	0.23	0.90	0.36
5月	0.19	0.061	0.63	0.23	1.3	0.28
6月	0.71	0.52	0.50	0.60	0.52	0.69
7月	0.97	0.86	0.83	0.82	1.3	0.82
8月	0.18	0.14	0.096	0.089	0.094	0.34
9月	0.092	0.15	0.24	0.037	0.47	0.26
10月	0.43	0.40	0.45	0.56	0.43	0.20
11月	0.46	0.47	0.67	0.54	1.1	1.1
12月	1.2	1.3	1.7	1.1	1.9	1.5
1月	1.0	1.0	1.1	0.89	1.6	1.2
2月	0.70	0.61	0.71	0.61	0.69	0.76
3月	0.85	0.96	0.63	0.84	0.69	0.56
最大値	1.2	1.3	1.7	1.1	1.9	1.5
最小値	0.092	0.061	0.096	0.037	0.094	0.20
平均値	0.60	0.56	0.67	0.55	0.92	0.67

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(2) トリクロロエチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.35	0.30	0.74	0.54	1.2	0.91
5月	0.17	0.14	0.43	0.32	0.76	0.64
6月	0.12	0.20	0.077	0.13	0.19	0.72
7月	0.39	0.35	0.30	0.29	0.69	0.72
8月	0.47	0.44	0.24	0.44	0.38	2.3
9月	0.41	0.31	0.44	0.26	1.2	0.98
10月	0.76	0.98	0.77	1.7	0.78	1.1
11月	0.31	0.38	1.6	0.77	1.4	1.5
12月	0.51	0.72	1.4	1.9	1.8	1.9
1月	0.77	0.93	1.4	1.1	1.4	3.1
2月	0.20	0.07 *	0.29	0.36	0.26	0.43
3月	0.99	1.1	1.2	2.6	1.6	0.87
最大値	0.99	1.1	1.6	2.6	1.8	3.1
最小値	0.12	0.07 *	0.077	0.13	0.19	0.43
平均値	0.45	0.49	0.74	0.87	0.97	1.3

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(3) テトラクロロエチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.13	0.097	0.092	0.096	0.29	0.19
5月	0.072	0.039	0.053	0.050	0.069	0.056
6月	0.025 *	0.028 *	0.019 *	0.029 *	0.036 *	0.096
7月	0.036 *	0.038 *	0.035 *	0.037 *	0.029 *	0.087
8月	0.054	0.035	0.049	0.032	0.040	0.064
9月	0.029 *	0.059	0.11	0.066	0.15	0.27
10月	0.11	0.069	0.11	0.11	0.13	0.18
11月	0.036	0.086	0.11	0.032	0.23	0.25
12月	0.0125 ND	0.0125 ND	0.051 *	0.0125 ND	0.10	1.2
1月	0.33	0.36	0.38	0.33	0.43	0.64
2月	0.0125 ND					
3月	0.012 ND	0.10	0.042 *	0.036 *	0.066 *	0.11
最大値	0.33	0.36	0.38	0.33	0.43	1.2
最小値	<0.024	<0.025	0.019 *	<0.025	<0.025	<0.025
平均値	0.072	0.078	0.089	0.070	0.13	0.26

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(4) ジクロロメタン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.9	3.2	1.9	13	1.8	1.7
5月	1.4	2.3	2.2	5.8	1.5	1.4
6月	1.1	1.5	2.6	20	1.3	1.6
7月	1.7	7.3	1.0	3.3	1.1	1.4
8月	3.1	3.9	2.4	2.1	1.9	3.3
9月	1.3	2.3	2.1	1.2	1.3	1.6
10月	2.3	4.5	2.3	5.3	2.0	1.9
11月	1.1	1.6	2.1	1.4	2.3	2.5
12月	1.3	5.1	2.9	5.6	3.2	4.7
1月	1.8	1.9	2.3	1.6	2.3	2.5
2月	0.37	0.47	0.70	0.97	0.50	0.45
3月	1.4	2.7	1.3	3.0	0.69	0.81
最大値	3.1	7.3	2.9	20	3.2	4.7
最小値	0.37	0.47	0.70	0.97	0.50	0.45
平均値	1.6	3.1	2.0	5.3	1.7	2.0

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(5) アクリロニトリル

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.046	0.041	0.081	0.039	0.12	0.037
5月	0.049	0.045	0.038	0.055	0.063	0.039
6月	0.039	0.039	0.025	0.037	0.028	0.035
7月	0.036 *	0.032 *	0.012 ND	0.035 *	0.051 *	0.012 ND
8月	0.031	0.037	0.021	0.051	0.031	0.033
9月	0.022	0.039	0.021	0.023	0.052	0.036
10月	0.085 ND					
11月	0.085 ND					
12月	0.13	0.16	0.15	0.11	0.14	0.23
1月	0.17	0.16	0.15	0.15	0.17	0.16
2月	0.0135 ND					
3月	0.08 *	0.10 *	0.10 *	0.08 *	0.10 *	0.09 *
最大値	0.17	<0.017	<0.017	<0.017	0.17	0.23
最小値	0.022	<0.027	0.021	0.023	<0.027	<0.024
平均値	0.066	0.070	0.065	0.064	0.078	0.071

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(6) 塩化ビニルモノマー

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.002 ND	0.002 ND	0.002 ND	0.002 ND	0.005 *	0.002 ND
5月	0.022	0.050	0.049	0.065	0.008 *	0.051
6月	0.014	0.0093 *	0.011	0.012	0.011	0.011
7月	0.0065 ND	0.019 *	0.019 *	0.019 *	0.034 *	0.0065 ND
8月	0.024	0.026	0.025	0.028	0.010 *	0.016
9月	0.013	0.015	0.023	0.012	0.019	0.015
10月	0.011	0.012	0.0090	0.014	0.020	0.012
11月	0.014	0.0064 *	0.011	0.0073 *	0.017	0.015
12月	0.04 *	0.05 *	0.06 *	0.05 *	0.05 *	0.05 *
1月	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.13
2月	0.02 ND	0.02 ND	0.02 ND	0.02 ND	0.02 ND	0.02 ND
3月	0.02 ND	0.02 ND	0.02 ND	0.02 ND	0.02 ND	0.02 ND
最大値	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.13
最小値	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.005 *	<0.004
平均値	0.026	0.029	0.031	0.031	0.028	0.029

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(7) クロロホルム

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.13	0.12	0.14	0.20	0.24	0.16
5月	0.80	1.8	1.3	1.1	0.66	1.6
6月	0.084	0.097	0.10	0.21	0.092	0.094
7月	0.12	0.16	0.11	0.18	0.13	0.16
8月	0.15	0.16	0.13	0.16	0.13	0.17
9月	0.089	0.16	0.13	0.098	0.13	0.14
10月	0.14	0.16	0.17	0.19	0.15	0.30
11月	0.096	0.099	0.12	0.10	0.15	0.16
12月	0.21	0.28	0.34	0.28	0.34	0.47
1月	0.30	0.29	0.29	0.29	0.32	0.41
2月	0.07 *	0.06 *	0.08 *	0.07 *	0.06 *	0.08 *
3月	0.08 *	0.10 *	0.07 *	0.12	0.06 *	0.24
最大値	0.80	1.8	1.3	1.1	0.66	1.6
最小値	0.07 *	0.06 *	0.07 *	0.07 *	0.06 *	0.08 *
平均値	0.19	0.29	0.25	0.25	0.21	0.33

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(8) 1,2-ジクロロエタン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.095	0.086	0.10	0.11	0.087	0.10
5月	0.084	0.087	0.10	0.16	0.096	0.15
6月	0.055	0.053	0.058	0.072	0.052	0.054
7月	0.046	0.043	0.044	0.046	0.035	0.042
8月	0.058	0.062	0.055	0.049	0.054	0.063
9月	0.035	0.069	0.016	0.032	0.016	0.012
10月	0.092	0.096	0.10	0.084	0.097	0.084
11月	0.061	0.049	0.061	0.049	0.054	0.059
12月	0.19	0.22	0.19	0.22	0.23	0.25
1月	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.22
2月	0.03 *	0.03 *	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND	0.03 *
3月	0.0135 ND					
最大値	0.21	0.22	0.21	0.22	0.23	0.25
最小値	<0.027	<0.027	0.016	<0.027	0.016	0.012
平均値	0.081	0.085	0.080	0.088	0.080	0.090

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(9) 1,3-ブタジエン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.045	0.050	0.088	0.038	0.23	0.065
5月	0.30	0.26	0.37	0.14	0.47	0.067
6月	0.025	0.020	0.019	0.013	0.015	0.068
7月	0.024 *	0.026 *	0.037 *	0.036 *	0.14	0.053
8月	0.040	0.044	0.037	0.030	0.023	0.099
9月	0.038	0.036	0.036	0.022	0.13	0.056
10月	0.058	0.044	0.056	0.082	0.17	0.039
11月	0.067	0.072	0.11	0.080	0.43	0.19
12月	0.25	0.26	0.28	0.24	0.29	0.32
1月	0.19	0.17	0.17	0.17	0.24	0.21
2月	0.057	0.055	0.090	0.061	0.095	0.11
3月	0.17	0.17	0.13	0.16	0.19	0.12
最大値	0.30	0.26	0.37	0.24	0.47	0.32
最小値	0.024 *	0.020	0.019	0.013	0.015	0.039
平均値	0.11	0.10	0.12	0.089	0.20	0.12

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(10) 塩化メチル

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.5	1.3	1.4	1.4	1.8	1.4
5月	0.97	0.99	1.3	1.0	1.6	1.1
6月	1.2	1.0	1.0	1.0	0.99	1.0
7月	1.2	1.1	0.99	1.1	1.1	0.98
8月	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5
9月	1.0	1.1	0.98	0.98	1.1	1.0
10月	1.4	1.3	1.4	1.7	1.4	1.1
11月	1.5	1.1	1.5	1.5	2.0	1.4
12月	6.5	4.5	4.4	4.8	3.9	4.7
1月	0.79	0.53	0.59	0.70	0.60	0.53
2月	0.96	0.90	1.0	1.0	0.96	0.93
3月	1.3	1.1	1.0	1.7	0.98	1.0
最大値	6.5	4.5	4.4	4.8	3.9	4.7
最小値	0.79	0.53	0.59	0.70	0.60	0.53
平均値	1.6	1.4	1.4	1.5	1.5	1.4

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(11) トルエン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	4.9	6.9	10	7.9	7.6	11
5月	4.9	4.1	4.2	4.6	6.3	7.7
6月	4.6	5.7	2.9	5.2	3.3	13
7月	5.6	10	2.8	6.6	5.7	7.0
8月	5.8	7.0	2.6	6.7	3.9	36
9月	15	6.5	7.2	6.3	8.9	28
10月	15	7.7	10	24	18	11
11月	7.7	5.9	13	16	18	18
12月	31	9.6	21	20	44	55
1月	6.5	6.6	22	13	19	18
2月	2.0	1.7	3.7	6.5	3.8	15
3月	21	20	11	28	8.0	10
最大値	31	20	22	28	44	55
最小値	2.0	1.7	2.6	4.6	3.3	7.0
平均値	10	7.6	9.2	12	12	19

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(12) キシレン類

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.3	1.5	1.6	1.6	2.2	7.0
5月	1.1	1.2	1.4	2.1	2.1	2.6
6月	0.89	1.1	0.71	1.5	0.71	4.1
7月	1.4	1.6	1.0	1.7	1.4	1.6
8月	1.2	1.3	0.75	1.9	0.82	4.1
9月	1.6	2.0	2.1	2.0	2.3	2.8
10月	2.4	2.6	2.6	3.7	2.7	2.4
11月	1.6	1.9	3.1	2.1	3.9	4.2
12月	3.1	3.5	4.1	4.2	5.4	4.9
1月	3.3	3.4	4.3	3.3	6.1	5.1
2月	2.3	2.3	2.7	2.5	3.0	2.9
3月	3.9	4.2	3.8	4.4	3.1	3.1
最大値	3.9	4.2	4.3	4.4	6.1	7.0
最小値	0.89	1.1	0.71	1.5	0.71	1.6
平均値	2.0	2.2	2.3	2.6	2.8	3.7

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(13) アセトアルデヒド

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.9	1.6	2.1	1.7	2.0	1.9
5月	1.0	1.4	3.1	1.6	2.2	2.6
6月	0.87	0.74	0.81	0.71	0.62	0.87
7月	1.3	1.7	1.8	1.8	1.2	1.2
8月	0.93	1.1	1.1	1.0	0.76	1.2
9月	0.92	1.5	1.7	1.2	1.2	1.7
10月	2.6	2.7	3.0	3.6	2.3	2.0
11月	1.9	1.9	3.0	2.6	3.2	2.9
12月	1.4	1.5	2.0	1.4	2.5	1.9
1月	1.9	2.2	2.9	2.1	3.5	3.1
2月	0.73	0.69	0.94	0.78	0.86	1.0
3月	3.2	3.8	3.0	3.9	2.2	2.0
最大値	3.2	3.8	3.1	3.9	3.5	3.1
最小値	0.73	0.69	0.81	0.71	0.62	0.87
平均値	1.6	1.7	2.1	1.9	1.9	1.9

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(14) ホルムアルデヒド

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	2.7	2.1	3.0	2.5	2.4	2.5
5月	2.0	2.4	3.6	2.8	2.8	4.4
6月	1.9	1.7	1.8	1.7	1.4	2.0
7月	2.9	3.3	3.5	3.2	2.3	2.6
8月	2.1	2.0	2.4	2.0	1.8	2.5
9月	2.1	2.5	3.2	2.3	2.1	3.1
10月	4.1	4.1	4.4	4.6	3.3	3.4
11月	2.4	2.3	3.5	3.1	2.9	2.8
12月	1.6	1.5	2.1	1.4	2.1	2.1
1月	2.1	1.9	2.9	2.1	3.2	3.0
2月	1.0	1.0	1.1	0.98	1.1	1.4
3月	2.9	3.3	3.0	3.2	2.2	2.3
最大値	4.1	4.1	4.4	4.6	3.3	4.4
最小値	1.0	1.0	1.1	0.98	1.1	1.4
平均値	2.3	2.3	2.9	2.5	2.3	2.7

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(15) 酸化エチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.051	0.046	0.048	0.049	0.060	0.048
5月	0.034	0.031	0.049	0.036	0.055	0.037
6月	0.044	0.023	0.022	0.025	0.023	0.030
7月	0.057	0.062	0.034	0.051	0.035	0.029
8月	0.058	0.028	0.028	0.032	0.026	0.034
9月	0.025	0.022	0.044	0.023	0.027	0.032
10月	0.094	0.068	0.065	0.078	0.057	0.063
11月	0.032	0.048	0.17	0.057	0.12	0.077
12月	0.043	0.037	0.15	0.090	0.16	0.093
1月	0.041	0.14	0.087	0.16	0.092	0.10
2月	0.023	0.021	0.025	0.041	0.032	0.030
3月	0.063	0.066	0.041	0.089	0.055	0.048
最大値	0.094	0.14	0.17	0.16	0.16	0.10
最小値	0.023	0.021	0.022	0.023	0.023	0.029
平均値	0.047	0.049	0.064	0.061	0.062	0.052

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(16) ベンゾ[a]ピレン

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.047	0.050	0.14	0.057	0.13	0.064
5月	0.019	0.022	0.098	0.074	0.13	0.042
6月	0.0046	0.0080	0.0064	0.0051	0.0086	0.043
7月	0.040	0.052	0.051	0.066	0.067	0.047
8月	0.0043	0.0063	0.0094	0.0059	0.0081	0.024
9月	0.0090	0.021	0.033	0.016	0.050	0.044
10月	0.032	0.037	0.054	0.045	0.049	0.042
11月	0.074	0.10	0.14	0.12	0.35	0.32
12月	0.050	0.099	0.091	0.12	0.16	0.15
1月	0.13	0.21	0.23	0.35	0.34	0.34
2月	0.034	0.028	0.043	0.033	0.038	0.045
3月	0.14	0.16	0.080	0.13	0.079	0.057
最大値	0.14	0.21	0.23	0.35	0.35	0.34
最小値	0.0043	0.0063	0.0064	0.0051	0.0081	0.024
平均値	0.049	0.066	0.081	0.085	0.12	0.10

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(17) クロムおよびその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.4	1.5	2.6	1.4	3.5	3.4
5月	1.0	0.93	3.1	1.4	2.6	2.9
6月	0.98	1.1	0.61	0.63	0.63	3.2
7月	3.9	1.3	1.8	1.5	1.5	3.3
8月	0.69	0.93	0.48	0.57	1.0	3.2
9月	0.94	1.5	0.66	0.74	1.4	1.5
10月	2.3	2.9	2.2	2.7	3.0	13
11月	2.5	2.1	3.9	1.9	4.4	7.3
12月	0.49	1.4	2.6	2.2	4.1	4.5
1月	0.96	1.9	2.5	2.1	3.4	6.1
2月	1.8	0.98	0.95	1.2	3.4	4.5
3月	3.5	2.8	3.9	3.5	3.8	5.0
最大値	3.9	2.9	3.9	3.5	4.4	13
最小値	0.49	0.93	0.48	0.57	0.63	1.5
平均値	1.7	1.6	2.1	1.7	2.7	4.8

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(18) 水銀及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	2.1	2.0	2.1	1.9	2.4	2.1
5月	2.0	2.1	2.1	1.9	2.2	2.1
6月	1.5	1.6	1.6	1.4	1.7	1.5
7月	1.6	1.9	1.5	1.5	1.7	1.6
8月	2.5	1.7	1.7	1.5	1.7	1.6
9月	1.6	1.6	1.7	1.4	1.7	1.6
10月	1.9	2.0	2.0	1.8	1.9	1.7
11月	1.8	1.8	1.9	1.8	2.1	2.0
12月	1.9	1.8	2.0	1.6	1.8	1.8
1月	1.5	1.5	1.7	1.5	1.7	1.7
2月	1.6	1.6	1.8	1.7	1.8	1.8
3月	1.6	1.6	1.8	1.6	1.8	1.8
最大値	2.5	2.1	2.1	1.9	2.4	2.1
最小値	1.5	1.5	1.5	1.4	1.7	1.5
平均値	1.8	1.8	1.8	1.6	1.9	1.8

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(19) ニッケル化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.90	0.93	1.5	1.1	1.7	1.7
5月	0.67	0.50	1.6	1.0	1.0	1.8
6月	0.38	0.97	0.36	0.47	0.69	2.1
7月	0.86	0.86	0.83	1.2	0.87	1.1
8月	0.47	0.62	0.57	0.39 *	1.1	1.7
9月	0.68	1.3	0.57	0.71	1.2	1.1
10月	1.0	1.6	1.3	1.8	1.6	2.5
11月	1.9	1.4	1.8	1.3	2.6	4.4
12月	0.27 *	0.85	0.90	1.1	1.2	1.8
1月	0.62	0.92	1.4	1.2	1.4	3.0
2月	1.1	0.80	0.55	0.72	1.3	2.8
3月	1.5	1.5	2.1	2.7	2.3	2.3
最大値	1.9	1.6	2.1	2.7	2.6	4.4
最小値	0.27 *	0.50	0.36	0.39 *	0.69	1.1
平均値	0.86	1.0	1.1	1.1	1.4	2.2

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(20) ヒ素及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.81	0.83	0.93	0.96	0.90	1.0
5月	0.21	0.27	0.24	0.25	0.25	0.33
6月	0.76	0.84	0.72	0.83	0.91	0.94
7月	0.22	0.21	0.20	0.21	0.14	0.23
8月	1.1	0.70	0.68	1.0	0.69	0.46
9月	0.20	0.27	0.73	0.23	0.65	0.35
10月	0.87	0.89	0.86	1.1	0.99	1.1
11月	0.50	0.46	0.56	0.52	0.62	0.70
12月	0.46	0.40	0.38	0.32	0.37	0.43
1月	0.38	0.29	0.42	0.38	0.58	0.68
2月	0.36	0.27	0.28	0.32	0.42	0.51
3月	0.75	0.53	0.74	0.88	0.78	0.86
最大値	1.1	0.89	0.93	1.1	0.99	1.1
最小値	0.20	0.21	0.20	0.21	0.14	0.23
平均値	0.55	0.50	0.56	0.58	0.61	0.63

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(21) ベリリウム及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.0035 ND					
5月	0.0035 ND					
6月	0.0035 ND					
7月	0.0035 ND					
8月	0.0035 ND					
9月	0.0035 ND					
10月	0.0035 ND					
11月	0.0035 ND					
12月	0.0035 ND					
1月	0.0035 ND					
2月	0.004 ND					
3月	0.003 ND					
最大値	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
最小値	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
平均値	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(22) マンガン及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	9.4	9.0	11	8.6	12	17
5月	5.1	5.9	7.7	7.6	8.2	14
6月	3.3	5.1	3.4	5.3	3.1	15
7月	6.8	6.5	9.1	6.8	6.6	14
8月	4.0	4.6	2.9	5.0	3.4	12
9月	4.0	7.5	4.8	3.8	4.6	6.2
10月	20	21	18	25	18	65
11月	14	12	22	15	23	38
12月	8.3	11	18	11	17	20
1月	12	14	19	13	21	38
2月	14	10	7.2	9.1	19	26
3月	30	25	26	26	24	31
最大値	30	25	26	26	24	65
最小値	3.3	4.6	2.9	3.8	3.1	6.2
平均値	11	11	12	11	13	25

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(23) 亜鉛及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	26	30	38	27	50	60
5月	15	18	27	25	33	34
6月	19	38	18	40	14	86
7月	18	22	23	23	24	41
8月	32	26	26	43	12	62
9月	11	19	25	13	30	29
10月	42	47	47	48	66	69
11月	60	48	68	48	97	120
12月	46	43	120	57	100	100
1月	54	42	61	38	110	110
2月	14	15	18	13	34	150
3月	85	66	69	78	81	69
最大値	85	66	120	78	110	150
最小値	11	15	18	13	12	29
平均値	35	34	45	38	54	78

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(24) バナジウム及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.77	0.84	1.2	0.87	1.4	1.4
5月	1.1	0.76	0.90	1.1	0.95	1.5
6月	0.29	0.48	0.53	0.30	0.34	1.3
7月	0.75	0.68	0.96	0.78	0.68	1.1
8月	0.29	0.32	0.38	0.23	0.19	1.0
9月	0.22	0.81	0.41	0.25	0.41	0.58
10月	1.4	2.0	1.9	1.8	1.9	3.9
11月	1.1	1.2	1.7	1.1	2.1	3.0
12月	0.51	0.85	0.68	0.67	0.91	1.5
1月	0.77	1.3	1.2	0.87	1.6	2.3
2月	1.5	1.3	0.73	1.0	2.0	2.9
3月	2.9	2.5	3.8	3.0	3.0	3.2
最大値	2.9	2.5	3.8	3.0	3.0	3.9
最小値	0.22	0.32	0.38	0.23	0.19	0.58
平均値	0.97	1.1	1.2	1.0	1.3	2.0

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(25) カドミウム及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.11	0.10	0.12	0.11	0.12	0.14
5月	0.048	0.062	0.086	0.12	0.10	0.075
6月	0.13	0.14	0.13	0.17	0.15	0.15
7月	0.036	0.034	0.037	0.042	0.033	0.032
8月	0.14	0.10	0.10	0.15	0.063	0.066
9月	0.028	0.051	0.11	0.039	0.061	0.051
10月	0.13	0.12	0.16	0.16	0.16	0.16
11月	0.18	0.11	0.15	0.18	0.19	0.19
12月	0.13	0.19	0.23	0.11	0.14	0.11
1月	0.18	0.082	0.17	0.17	0.17	0.15
2月	0.061	0.041	0.050	0.046	0.10	0.075
3月	0.27	0.27	0.17	0.25	0.12	0.18
最大値	0.27	0.27	0.23	0.25	0.19	0.19
最小値	0.028	0.034	0.037	0.039	0.033	0.032
平均値	0.12	0.11	0.13	0.13	0.12	0.11

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(26) 鉛及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	4.7	4.0	5.6	7.2	10	9.9
5月	1.7	2.5	4.4	3.8	5.0	3.6
6月	2.1	2.7	2.4	3.5	2.4	5.0
7月	2.1	2.1	3.2	2.5	2.2	2.5
8月	2.6	2.2	2.2	3.2	1.5	3.9
9月	0.78	1.9	2.5	1.1	7.2	7.6
10月	4.9	4.9	5.3	5.7	8.4	6.1
11月	5.7	5.8	6.8	5.5	10	19
12月	7.5	3.8	9.8	4.6	6.2	13
1月	5.5	3.2	6.5	6.3	14	11
2月	2.0	1.8	1.8	1.9	2.5	9.5
3月	13	8.5	11	39	7.6	50
最大値	13	8.5	11	39	14	50
最小値	0.78	1.8	1.8	1.1	1.5	2.5
平均値	4.4	3.6	5.1	7.0	6.4	12

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(27) 浮遊粉じん

(単位: μg/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	24	27	25	27	30	36
5月	14	18	17	19	20	27
6月	12	16	15	14	16	42
7月	22	22	24	15	23	26
8月	11	12	12	12	11	27
9月	7.5	19	9.1	10	10	12
10月	37	46	42	50	43	72
11月	26	25	35	30	47	51
12月	15	20	21	15	30	44
1月	26	33	34	26	52	53
2月	31	21	18	21	150	50
3月	78	74	74	66	75	82
最大値	78	74	74	66	150	82
最小値	7.5	12	9.1	10	10	12
平均値	25	28	27	25	42	44

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

※ NDを付した測定値は検出下限値の1/2(これを平均値算出に用いている)

※ 最大値・最小値が検出下限値未満の場合は「<検出下限値」として表示

表 I - 1 1 調査時間帯の気象データ

(1) 天候

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	晴	晴	曇のち晴	曇のち晴	曇のち晴	曇のち晴
5月	曇のち雨	晴のち曇	曇のち雨	曇のち雨	曇のち雨	曇のち雨
6月	曇のち晴	曇	曇	曇	曇のち雨	曇のち雨
7月	曇	曇	曇	曇	晴のち曇	晴のち曇
8月	曇	曇	曇	曇	曇	曇
9月	曇	曇のち雨	曇	曇のち雨	曇	曇
10月	晴のち雨	晴のち曇	晴のち雨	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇
11月	晴	晴	晴	晴	曇のち晴	晴
12月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
1月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
2月	晴のち曇	晴れ	晴のち曇	晴	晴	晴
3月	晴	曇のち晴	晴	曇のち晴	晴	晴

(2) 主風向

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	SSE	ESE	S	W	CALM	S
5月	SSE	SSE	SSE	SSE	SSW	SSE
6月	SE	E	E	E	NNE	NNE
7月	NNW	NNW	NNE	S	NNE	S
8月	SE	NE	ESE	E	NNE	NE
9月	ENE	NE	NE	E	CALM	NE
10月	W	NNW	S	W	SW	S
11月	WNW	CALM	NW	WNW	CALM	NNE
12月	WNW	CALM	NNE	W	CALM	WNW
1月	WNW	CALM	CALM	NW	CALM	CALM
2月	WNW	NW	NW	NW	NNE	NW
3月	WNW	CALM	SSW	NW	SSW	S

(3) 風速

(単位: m/s)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.7	1.4	1.8	2.6	0.8	1.9
5月	1.6	1.4	2.1	3.0	1.0	2.3
6月	1.0	0.7	1.6	2.1	0.8	1.2
7月	1.6	1.7	2.8	3.0	2.0	2.9
8月	1.2	0.9	1.8	2.0	0.8	1.4
9月	1.2	1.2	1.5	2.4	0.5	1.2
10月	1.3	1.0	1.8	1.2	1.8	3.1
11月	1.9	0.7	1.2	1.3	0.6	1.1
12月	1.0	0.7	0.8	1.2	0.7	0.9
1月	1.0	0.9	0.8	1.2	0.5	0.8
2月	4.0	3.9	2.2	3.5	1.9	2.8
3月	1.3	0.7	2.0	1.6	2.2	3.1

(4) 気温

(単位: °C)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	18.2	17.0	18.2	16.5	17.8	17.7
5月	19.1	19.7	19.8	19.5	19.9	20.3
6月	17.9	17.3	17.5	17.0	17.7	18.3
7月	26.8	26.6	26.7	26.2	26.7	26.8
8月	23.7	23.6	23.5	22.9	23.9	24.4
9月	23.8	24.7	24.4	24.0	25.5	25.8
10月	23.9	24.5	24.7	23.7	26.0	26.4
11月	14.6	13.3	14.9	13.2	15.2	15.2
12月	7.8	7.8	7.8	6.4	9.3	9.6
1月	4.4	3.6	4.4	3.0	5.4	5.7
2月	4.5	5.1	4.8	4.6	5.6	5.9
3月	11.9	11.2	14.4	11.1	15.2	15.3

(5) 湿度

(単位: %)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	72	70	71	68	74	77
5月	89	80	85	79	85	86
6月	83	82	82	82	81	82
7月	82	80	78	76	79	84
8月	90	89	88	88	86	90
9月	97	94	95	84	89	93
10月	68	66	71	62	66	67
11月	65	68	64	61	63	67
12月	61	60	63	63	56	56
1月	51	52	53	47	50	51
2月	41	34	38	28	34	35
3月	42	42	47	30	47	48

(6) 雨量

(単位: mm)

	熊谷 *1	東松山	春日部	環境科学 *1	草加花栗	戸田美女木
4月	19.5	-	-	22.5	-	-
5月	13.5	-	-	15.5	-	-
6月	9.0	-	-	6.0	-	-
7月	0.0	-	-	0.0	-	-
8月	2.5	-	-	15.5	-	-
9月	46	-	-	47.5	-	-
10月	0.5	-	-	0.0	-	-
11月	0.0	-	-	0.0	-	-
12月	0.0	-	-	0.0	-	-
1月	0.0	-	-	0.0	-	-
2月	0.0	-	-	0.0	-	-
3月	0.0	-	-	0.0	-	-

(7) 気圧

(単位: hPa)

	熊谷 *1	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1008.9	-	-	-	-	-
5月	1010.0	-	-	-	-	-
6月	1010.9	-	-	-	-	-
7月	1003.2	-	-	-	-	-
8月	1005.2	-	-	-	-	-
9月	1011.3	-	-	-	-	-
10月	1005.9	-	-	-	-	-
11月	1015.1	-	-	-	-	-
12月	1016.8	-	-	-	-	-
1月	1020.5	-	-	-	-	-
2月	1015.5	-	-	-	-	-
3月	1007.6	-	-	-	-	-

出典: (1) 天候は測定者によるもの、(2) 主風向 ~ (7) 気圧は以下の1時間値データを基に算出した測定時間中の平均値(主風向は最頻値)

(無印) 埼玉県大気汚染常時監視システム

* 1 気象庁ホームページ

(<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)